

令和5年度までの福島イノベーション・コースト構想の取組

あらゆるチャレンジが可能な地域

様々な分野におけるイノベーションにつながる新たなチャレンジを実施できる地域となることを目指す

地域を実証フィールドとして活用する企業等の呼び込み



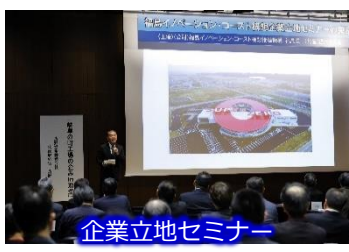
先端ロボットによる実証試験

○福島浜通りロボット実証区域
ロボットの研究開発を積極的に支援するため、県内の橋梁やダム、河川、山野などを実証試験や操縦訓練の場として提供。

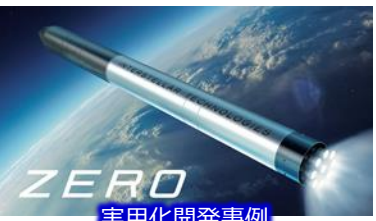
試験誘致件数：1,275件 (H30年7月からR6年1月末まで)

○浜通り地域等への企業誘致
優れた立地環境や各種優遇制度等を紹介するセミナー、産業団地を巡る現地見学ツアー、個別現地案内等実施し、浜通り地域等への企業誘致を促進。

浜通り地域等における
累計企業立地件数・雇用創出数
企業立地件数：429件
雇用創出数：4,763人(R6年1月末時点)
※新增設に対する補助金の採択ベース



企業立地セミナー



実用化開発事例

○地域復興実用化開発等促進事業
地元企業との連携等による地域振興に資する実用化開発等を促進。

延べ507件の事業を採択
(平成28年度から令和5年度まで)
・H28：46件
・H29：68件(うち新規採択33件)
・H30：83件(うち新規採択35件)
・R1：61件(うち新規採択31件)
・R2：66件(うち新規採択27件)
・R3：70件(うち新規採択38件)
・R4：60件(うち新規採択20件)
・R5：53件(うち新規採択21件)

○イノベーション創出プラットフォーム事業 Fukushima Tech Create

…起業・創業ステージに応じた3つのプログラムにより、イノベ地域において事業化に至るまでの様々な支援を実施。

支援実績
・ビジネスアイデア事業化プログラム…採択20件
・アクセラレーションプログラム…採択7件
・先導技術事業化アクセラレーションプログラム…採択7件



Fukushima Tech Create2024成果報告会

交流人口・関係人口の拡大 情報発信

○東日本大震災・原子力災害伝承館
複合災害の記録と教訓を収集・保存するとともに、調査・研究し、展示・研修を行う情報発信拠点として、令和2年9月に双葉町に開館。

令和5年11月 来館者数25万人達成



展示コーナー

○福島イノベ構想シンポジウム
構想の進捗状況等について、幅広い層への認知を促進させるとともに構想の理解を深化させることを目的としたシンポジウムを開催。

12月9日 広野町「ふたば未来学園」多目的ホール
来場者数：186名(オンライン視聴：63名)
10/9 見える化セミナー 新地
来場者：77名
12/23 見える化セミナー 郡山
来場者：127名
1/27 見える化セミナー 飯館
来場者：54名(オンライン視聴：24名)



イノベ構想シンポジウム

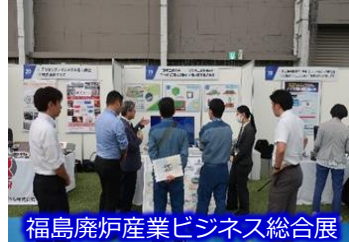


見える化セミナー 福島イノベ構想ってなあに？

地域の企業が主役

最先端分野だけでなく、地域に根ざした産業を含め地元企業が幅広く構想に参画できるよう、地元企業と進出企業の連携を広域的に進める

地元企業の参画拡大、県内他地域との連携強化



福島廃炉産業ビジネス総合展

○廃炉関連産業マッチングサポート事務局
元請企業と県内企業のマッチング支援
R5年度までの成約実績：1,039件 (R6.2末時点)

・交流会開催
第1回 元請7社、県内企業20社参加(8/2)
第2回 元請6社、県内企業30社参加(2/6)
・廃炉スタディーツアー開催
第1回 9社(9名)参加(7/20)
第2回 11社(11名)参加(10/11)
・福島廃炉産業ビジネス総合展(10/19)
38ブース出展、来場者393名



福島イノベ倶楽部視察会

○福島イノベ倶楽部
異業種間の連携、地域間の連携、地元企業と進出企業との連携による新事業の創出や取引拡大を目指す異業種交流の場。

会員数：160企業・団体(正会員127、賛助会員33)
・理事会・総会(7/24 南相馬市)
・視察会・交流会(12/13 浪江町、南相馬市内)
・研修会・交流会(2/29 相馬市)

○福島イノベ企業合同プレス発表会の開催

浜通り地域等への進出企業や新しい取組を行っている地元企業等の活動を支援するため、取組内容や成果を広く発信する合同プレス発表会の開催。

第1回(5/30)発表企業4社(事業化開始製品)
第2回(10/18)発表企業4社(販路拡大・新規開発製品)
第3回(2/28)発表企業4社(廃炉/宇宙をテーマに東京初開催)



合同プレス発表会

構想を支える人材育成

自立的・持続的な産業発展を成し遂げるため、地域でイノベーションを生み出す人材と産業集積を支える人材を育成する

小中学校、高校におけるキャリア教育の推進



ふるさと創造学サミット

○小中学校
構想の実現に貢献する人材育成の裾野を広げるため、双葉郡8町村が連携して取り組む探究的な学習「ふるさと創造学」の実施を支援。
第10回双葉郡ふるさと創造学サミット(12月2日開催)
約840名参加(児童生徒513名、教職員・関係者212名、配信視聴約113名)



人材育成成果報告会

○高等学校
福島イノベ構想の実現に貢献する人材育成成果報告会
構想に関する教育プログラムの成果報告会を2月に開催。
県内高校25校、約110名参加
高校生によるジャム製造販売
県内の農業高校5校が連携して商品企画・製造を行った「ジャムプロジェクト」によるジャムの販売会を開催。

大学等による教育研究活動(復興知事業)

イノベ地域での人材育成基盤の構築を目指し、大学等の教育研究活動を支援。
17大学等21プロジェクトを採択



葛尾村「能」舞台への技術支援を通じた人材育成(日本大学)

福島国際研究教育機構

福島国際研究教育機構(F-REI)の機能の最大化

令和5年4月に浪江町に設立。設立以降、浜通り地域等の各市町村での座談会や県内大学・高校等でのトップセミナーの開催のほか、令和5年11月から委託研究が順次開始されるなど、「創造的復興の中核拠点」を目指した取組を着実に実施。



トップセミナー(原町高校)



座談会(双葉町)

イノベ構想推進分科会

第4回福島イノベーション・コースト構想推進分科会の開催

復興副大臣や経済産業副大臣兼原子力災害現地対策本部長、知事が共同議長として、浜通り地域等15市町村長や有識者他とともに、構想の推進等の基本的な方針や各プロジェクト等の進捗状況等について、情報共有や意見交換等を実施。
11/24 福島市



イノベ構想推進分科会

課税の特例

課税の特例(イノベ税制)

イノベ構想の重点分野の取組を推進するため、新産業創出等推進事業を行う事業者を対象として固定資産税の課税免除等により支援。

令和5年度認定実績
・航空分野に係る取組(田村市)
・医療関連分野に係る取組(檜葉町) 計2件
活用事例:ARCALIS

